株式会社ヨネイ

2026年度 健康白書

株式会社ヨネイ

◎健康宣言

「社員とその家族の健康増進に積極的に取り組む事を宣言致します。」

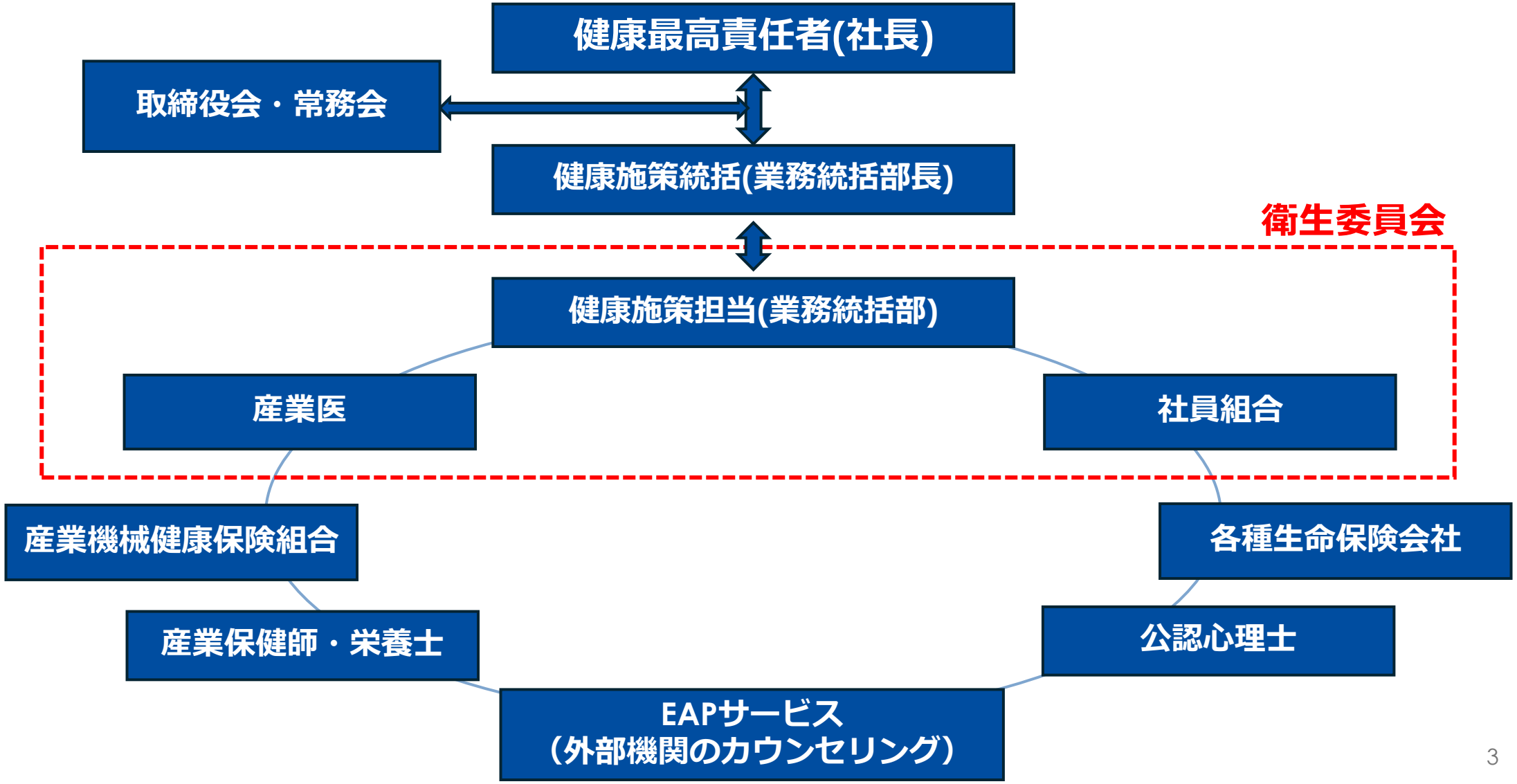
当社経営理念である、人と技術と情報を繋ぐ「機能商社」として
社会の発展と安全に貢献する事を実践する為にはまず、
そこで働く社員やその家族が健康であることが必要不可欠です。

健康最高責任者 代表取締役 大田 健治

◎健康経営推進体制

株式会社ヨネイ

健康最高責任者の方針のもと、社内外の専門人材と各組織が連携し、健康施策の実行と改善を支えています。



◎健康経営推進体制

株式会社ヨネイ

・産業医・組合との連携（衛生委員会による注意喚起・問題提起・再健診必要性の確認）

・産業機械健康保険組合との連携（特定保健指導対象者への受診勧奨）

・産業保健師・栄養士・公認心理士との連携
（特定保健指導対象外の40歳未満の社員を含めた保健指導）(精密検査受診勧奨）

・生命保険会社への委託（健康相談窓口設置・健康診断結果分析・健康測定会）

・感染症対策の徹底（社内でのワクチン接種・ワクチン休暇の付与）

・外部EAPとの連携
（健康イベント・健診の見える化・メンタルヘルスセミナー・健康意識調査・睡眠改善に向けた各種施策の実施・理学療法士による健康指導・女性特有の健康関連課題の解決支援）

・両立支援の取組
（時差出勤・特別有給休暇の積極的な付与・育休復帰支援プログラムの策定・育児短時間勤務制度の拡充・介護休業規程の改定・社内コミュニケーションツールの充実）

◎健康経営戦略

○解決したい経営上の課題（中長期的な企業価値向上）

従業員のパーソナリティが、企業価値と密接に繋がっていると認識している。健全な労働環境を提供し、人に投資を行い、いかに従業員のパフォーマンスを向上させるかが、価値を向上させる為の課題である。

○中期目標指標（2028年度）

・SPQ東大1項目版を尺度とするプレゼンティーイズムは85点以上を目指す。
・アブセンティーズムとしては病気による休暇取得の日数を1.5日以下に抑えたい。
・ワークエンゲージメントについては「高評価者：評価点が3点以上（100点満点換算では約67点以上）」の割合を65%以上にしたい。

※自社で導入している従業員調査内に「新職業性ストレス簡易調査票」のワークエンゲージメントに関する質問2項目を組み入れて測定。

◎戦略マップ

株式会社ヨネイ

社会的価値
安定的に「機能商社」として社会の発展と安全に貢献

企業価値
業績の向上・離職率の低下

健康投資
- がん検診・婦人科健診・脳ドック・歯科検診補助
- リテンションマネジメントの推進
- 産業保健師・栄養士・公認心理士による保健指導および精密検査受診勧奨
- 治療・介護・育児の積極的両立支援
- 24h各種相談ダイヤル・女性特有の課題窓口
- 全社懇親会開催・所属部毎の懇親会費用補助
- 運動・食事・健康関連のセミナー及び費用補助
- 健康管理システム（CARADAアプリ）の提供
- 「眠りの応援団」・「からだの保健室」サービス

健康投資の効果

健康投資施策の取組み状況に関する指標	従業員等の意識変容・行動変容に関する指標	健康関連の最終的な目標指標
有給取得日数の向上	有給休暇平均取得日数	プレゼンティーイズムの改善
月間残業時間の削減	平均月間所定外労働時間	アブセンティーズムの改善
運動習慣を有する従業員の割合	BMI＝18.5～24.9kg/㎡の割合	ワークエンゲージメントの向上
ウォーキングイベント参加率	定期健康診断の有所見率・精密検査受診率	
健康ツール利用者数の増加	受診勧奨判定値の該当者比率	
対象者全員への特定保健指導・保健指導を実施	高ストレス者の割合	
ストレスケア施策への参加率	職場一体感の高評価割合	
健康施策の満足度・懇親会費用補助活用実績	社内コミュニケーションの高評価割合	

従業員の健康課題
- 生活習慣の改善
- シニア世代の増加
- がんの早期発見
- 社員のモチベーション維持・向上
- 職場の心理的安全性の確保

健康経営の浸透状況	方針実現のための体制・環境	サポート、組織的支援（POS）、WSC等
健康意識調査	健康経営優良法人認定 責任者設置・専門人材との連携	ストレスチェック 上司・同僚の支援

健康風土の醸成

目標年：2028年

KGI	健康経営の目標	健康経営の推進方針	経営方針
プレゼンティーイズム 85点以上 ※SPQ素大1項目版 病気による休暇取得の日数 1・5日以下 高エンゲージメント者の割合 65%以上	従業員のパフォーマンス向上 ESG経営による企業価値向上	社員とその家族の健康増進に積極的に取り組む事を宣言致します。当社経営理念である、人と技術と情報を繋ぐ「機能商社」として社会の発展と安全に貢献する事を実践する為には、まずそこで働く社員やその家族が健康であることが必要不可欠です。	人と技術と情報を繋ぐ「機能商社」として社会の発展と安全に貢献します。

作成：2026年7月

◎健康経営関連データ

株式会社ヨネイ

項　目	2023年度実績	2024年度実績	2025年度実績	2026年度目標	2028年度最終目標
定期健康診断受診率	100%	100%	100%	100%	**100%**
精密検査受診率	55.3%	67.5%	80.8%	85%以上	**100%**
ストレスチェック受検率	99%	98.0%	98.7%	100%	**100%**
特定保健指導実施率	92.9%	50.0%	85.0%	90%以上	**100%**
婦人科健診受診率	100%	100%	100%	100%	**100%**
ウォーキングイベント参加率	66.9%	63.4%	70.4%	80%以上	**100%**
ウォーキングイベント満足度	88%	77%	86%	90%以上	**100%**
平均月間所定外労働時間(h)	14.3h	13.0h	14.0h	10h以内	**10h以内**
有給休暇平均取得日数	15.4日	13.7日	15.1日	15日以上	**15日以上**
喫煙率	21%	21%	17%	15%以下	**15%以下**
高血圧のうち治療中率	96%	92.6%	85.7%	95%以上	**100%**
運動習慣を有する従業員の割合	80%	77%	75%	85%以上	**100%**
定期健康診断の有所見率	58.6%	51.1%	47.4%	45%以下	**45%以下**
受診勧奨判定値の該当者比率（血圧）	21.9%	29.7%	30.7%	18%以下	**18%以下**
受診勧奨判定値の該当者比率（肝機能）	8.3%	5.0%	10.9%	5%以下	**5%以下**
受診勧奨判定値の該当者比率（血糖）	7.3%	4.0%	5.0%	5%以下	**5%以下**

◎健康経営関連データ

株式会社ヨネイ

項　目	2023年度実績	2024年度実績	2025年度実績	2026年度目標	2028年度最終目標
BMI＝18.5～24.9kg/㎡の割合	69.2%	62.1%	61.3%	70%以上	**70%以上**
職場一体感の高評価割合	69.3点	70.2点	68.7点	80.0点以上	**80.0点以上**
社内コミュニケーションの高評価割合	77%	79%	85%	90%以上	**90%以上**
平均勤続年数	16年	15年	15年	–	**–**
離職率	6.0%	4.2%	1.4%	2%以下	**1%以下**
傷病による欠勤・休職者数	2人	3人	1人	0人	**0人**
高ストレス者の割合	12.8%	13.0%	14.0%	11%以下	**11%以下**
労働災害	2件	1件	0件	0件	**0件**
死亡災害	0件	0件	0件	0件	**0件**
プレゼンティーイズム(SPQ東大1項目版)評価点	79.8点	77.0点	77.0点	85.0点以上	**85.0点以上**
アブセンティーズム(病気による休暇取得の平均日数)	2.1日	2.4日	1.6日	1.5日以下	**1.5日以下**
ワークエンゲージメント	60.3%	60.8%	60.7%	65.0%以上	**65.0%以上**
健康意識調査　回答人数	145人	135人	143人	–	**–**
健康意識調査　回答率	91%	84%	89%	–	**–**

◎2025年度実績

株式会社ヨネイ

■プレゼンティーズム（心身の体調不良が原因のパフォーマンス低下者）の低減

・SPQ東大1項目版を尺度とするプレゼンティーイズム評価点77.0点
・有給休暇平均取得日数15.1日
・平均月間所定外労働時間14.0時間
・運動習慣を有する従業員の割合75%
・女性産業医による健康相談会を実施
・社員の体調不良の改善を目的に専門トレーナーを社内に常駐させるサービスを実施
・WEB配信型の健康セミナーを実施
・産業保健師による40歳未満の社員を含めた保健指導を実施
・眼の健康をテーマとしたイベントを実施
・女性特有の健康関連課題の解決支援を目的としたサービスを導入
・プレコンセプションケアへの取組を実施
・食生活改善に向けた環境整備の検討



株式会社ヨネイ

◎2025年度実績

■アブセンティーズム（心身の体調不良が原因の休職者）の低減

・病気による休暇取得の平均日数1.6日
・精密検査の受診率80.8%
・定期健康診断受診率100%
・喫煙率17%
・35歳以上の希望者全員が人間ドック（含癌検診）を受診
・女性の婦人科健診受診率100%（会社負担）
・脳ドック受診者への費用補助を実施
・歯科検診受診者への費用補助を実施
・ワクチン休暇（有給）の付与を実施
・希望する役職員全員へのインフルエンザの予防接種を実施



■労働安全衛生

・労働災害再発防止の為、各種作業に準じた法令・安全に係る講習会を実施
・傷病による欠勤・休職者数1人
・労働災害の発生件数0件
・死亡災害の発生件数0件



◎2025年度実績

■高ストレス者の低減

・新任部長・部長代行の外部開催「ラインケア」セミナー受講
・ストレスチェック受検率98.7%
・グループ長制導入による「ラインケア」を実施
・中堅社員の後輩サポート力向上を目的とした研修を実施
・ストレスマネジメントに関するeラーニングを実施

■健康ハイリスク者の放置ゼロ

・定期健康診断の有所見率47.4%
・心身の疲労による病欠削減の為、「ねむりの応援団」等の各種福利厚生の再周知を実施
・特定保健指導実施率85%（勤務時間内実施）
・健康アプリ提供・健康測定会実施による現状把握及び生活習慣の改善支援を実施
・産業保健師による2次検診勧奨を実施



◎2025年度実績

株式会社ヨネイ

■エンゲージメントの向上

・独自の測定方法で取得している高エンゲージメント者の割合60.7%
・健康意識調査を実施（回答率89%、健康施策の効果判定に活用）
・管理職・若手・中堅社員、それぞれの連携を強固にするセミナーを実施
・ウォーキングイベント開催（1日8000歩クリア58名、参加率70.4%、満足度86%）
・ウォーキングイベントを取引先と共同開催
・スポーツエールカンパニーの取得(スポーツ奨励金継続)
・ファイナンシャルプランナーによる資産形成セミナーを実施
・ハラスメント研修を実施
・トップアスリートによるセルフマネジメント・トレーニング方法の講演を実施
・全社参加型カルチャープラットフォーム（Unipos）を継続
・若手・中堅社員に対しリテンションマネジメント施策を実施
・社員全員を対象としたBBQを実施
・社員全員を対象とした不妊治療支援を実施
・社内コミュニケーションの活性化を目的とした年2回の懇親会の会社補助を実施

SPORTS YELL COMPANY 2026



◎2026年度計画

株式会社ヨネイ

■プレゼンティーズム（心身の体調不良が原因のパフォーマンス低下者）の低減

・SPQ東大1項目版を尺度とするプレゼンティーイズム評価点85.0点以上
・有給休暇平均取得日数15日以上
・平均月間所定外労働時間10時間以内
・運動習慣を有する従業員の割合85%以上
・女性産業医による健康相談会を継続（会社の悩みや家族の事も相談可能）
・社員の体調不良の改善を目的に専門トレーナーを社内に常駐させるサービスを継続
・WEB配信型の健康セミナーを継続
・40歳未満の社員を含めた保健指導の為、産業保健師との契約を継続
・社員の栄養指導の為、産業栄養士と契約
・女性特有の健康関連課題の解決支援を目的としたサービスを継続
・プレコンセプションケアへの取組を継続
・食生活改善に向けた環境整備として食事手当を導入



◎2026年度計画

■アブセンティーズム（心身の体調不良が原因の休職者）の低減

・病気による休暇取得の平均日数1.5日以下
・精密検査の受診率85%以上
・定期健康診断受診率100%
・喫煙率15%以下
・35歳以上の希望者全員に対する人間ドック（含癌検診）を継続
・女性の婦人科健診受診率100%（会社負担）
・脳ドック受診者への費用補助を継続
・歯科検診受診者への費用補助を継続
・ワクチン休暇（有給）の付与を継続
・希望する役職員全員へのインフルエンザ予防接種（無料）を継続

■労働安全衛生

・労働災害再発防止の為、各種作業に準じた法令・安全に係る講習会を継続
・傷病による欠勤・休職者数0人
・労働災害の発生件数0件
・死亡災害の発生件数0件

◎2026年度計画

株式会社ヨネイ

■高ストレス者の低減

・新任部長・部長代行を外部開催「ラインケア」セミナーへの派遣を継続
・ストレスチェック受検率100%
・グループ長制導入による「ラインケア」を継続
・特に若手・中堅社員の部署間コミュニケーションを活性化させる研修を検討
・ストレスマネジメントに関するeラーニングを継続
・メンタルカウンセリングの為、公認心理士との契約を検討

■健康ハイリスク者の放置ゼロ

・定期健康診断の有所見率45%以下
・心身の疲労による病欠削減の為、「ねむりの応援団」等の各種福利厚生の再周知を継続
・特定保健指導実施率90%以上（勤務時間内実施継続）
・健康アプリ提供・健康測定会実施による現状把握及び生活習慣の改善支援を継続
・産業保健師による2次検診勧奨を継続



◎2026年度計画

株式会社ヨネイ

■エンゲージメントの向上

・独自の測定方法で取得している高エンゲージメント者の割合65.0%以上
・健康意識調査を継続（健康施策の効果判定に活用）
・管理職・中堅・若手社員、それぞれの連携を強固にするセミナーを継続
・ウォーキングイベント開催（1日8000歩クリア60名以上、参加率80%・満足度90%以上）
・イベント活性化の為、取引先との共同開催を継続
・スポーツエールカンパニーの再取得
・ファイナンシャルプランナーによる資産形成セミナーを継続
・ハラスメント管理体制の強化
・トップアスリートによるセルフマネジメント・トレーニング方法の講演を継続
・業務効率化の為、AI活用セミナーを検討
・若手・中堅社員に対しリテンションマネジメント施策を継続
・社員全員を対象とした社員交流イベントを継続
・社員全員を対象とした不妊治療支援を継続
・社内コミュニケーションの活性化を目的とした年2回の懇親会の会社補助を継続
・社員全員を対象とした130周年記念行事を検討